

お元気
ですか

寄居議会 です



聴きたいのは
あなたの声

No.116

埼玉県・寄居町議会
令和7年3月定例会
(2025. 5. 1発行)

16人の熱視線！

令和7年度 一般会計予算

のびしろ注目点

吉澤康広議長

変わる教育環境への対応

公共施設の今後を注視

学校統廃合、部活動地域移行等教育環境の変化が大きい予算案。公共施設の修繕費用も多く、今後はより「選択と集中」を。

久保鷹矢
議員



町が作成したポスター。県内市町村中、特に低い順位の項目をあえてピックアップし、自虐的に「のびしろたっぷりの町」とPR。埼玉新聞社主催新聞広告コンテスト優秀賞受賞。

町コン2度開催に期待

ヒットの予感 健康弁当

前回カップル成立50%の結果。その勢いを年2回開催につなげたい。健康弁当とランチをスーパーと飲食店につなげればブレイクの予感。

笠原則夫
議員

よりいブランドの確立

地域内経済循環の促進

農工商の新規事業者が定着できる下地づくりを支援し、地域内経済を活性化させ、町の魅力を積極的に発信する取り組みに期待する！

保泉周平
議員

埼玉県内63市町村中「空き家ワースト1位」「健康長寿 男53位・女63位」「道舗装率51位」「出生率49位」「婚姻率48位」「1人あたり市町村民所得44位」など

峯岸町政は現在、任期4年の折り返し地点。令和7年度当初予算での所信表明では「課題は多いが見方を変えれば全てののびしろ。寄居町はさらに良くなる」と決意を述べた。一方我々議会にも、このポスターで浮き彫りとなった多くの課題に対し、打開の一手を打つ役割と大きな責任がある。今号ではまず、令和7年度当初予算への全議員の「のびしろ注目点」とその熱視線を「賢い」いただきたい。

未来のあるべき教育は

ちょうどいい田舎暮らしを

少子化が進む寄居町も子ども達の教育環境や教育方法が今後の課題。他自治体に先駆けあるべき教育を地域住民と創る。

権田孝史
議員

小学校建設詳細設計！

一般会計予算附帯決議

一般会計予算に対し緊急動議で附帯決議を可決。学校再編に対し、義務教育学校の方向性を含め住民教育関係者議会と合意形成を。

稲山良文
議員

一方的な理論学校統合

おかしい準備委員構成

校長2人制の主張、許せない一方的な理論の進め方。不自然な準備委員会構成は一般13名教育関係者28名、計41名。正当な人事構成か。

原回孝
議員

健康長寿の町へ前進を 救命教育授業継続



里見夕子
議員

40代50代女性の乳がん検診の期間限定無料化や健診等の受診時にナトリウム測定実施など、幅広い世代に対する健康長寿の取組に期待。

高齢化地域の維持を 町民の居住環境の向上



吉田林蔵
議員

高齢者の外出を支援する高齢者福祉タクシー事業や移動販売事業など、好評の声があるため、引き続き取組を推進してほしい。

子育て支援が不十分 5歳児健診開始は評価



浅見玲子
議員

5歳児健診開始と放課後児童クラブ増設は子育て支援の二環として評価するが、給食費・保育料無償化がなされず、残念。

桜沢コミセン整備工事 中央公民館空調改修



本間政道
議員

多くの寄居町公共施設で老朽化による不具合があり、速やかな修理を行う予定になっている。町民の利便性を第一に考えた予算に期待！

デマンドタクシー運行 住宅改修資金補助金



太澤 博
議員

町外の総合病院へ町外便の本格運行でさらなる利便性向上を。住宅改修資金補助金の経済効果は予算の10倍、年度内限定にせず、経済効果向上を。

子育て世帯の居住促進 「健康意識」の普及



津久井大雄
議員

子育て世帯の住宅取得を支援する居住促進や交通ネットワークの連携、若い頃からの「健康づくり」に対する意識の啓発を。

子ども家庭センター拡充 5歳児健診 円滑な就学へ



鈴木詠子
議員

少子化対策の鍵は産前から一貫した切れ目のない「母子養育支援」にあり。ヤングケアラー等への確かな支援にも期待。

町税3年連続50億円突破 部活一部地域クラブ移行



吉田正美
議員

歳入の大宗を占める町税が3年連続50億円突破。財政運営の安定に寄与。教員の負担軽減や少子化を背景に中学校部活動を一部地域クラブに移行。

(仮称)城南小学校！ 健康并当事業の推進！



岡本安明
議員

(仮称)城南小学校、城南中学校長寿命化改修事業は、令和10年度の開校に向け、順調に事業が進んでいる。

フカボリ

令和7年度

予算Top5

議会はこう見る

令和7年度一般会計予算は141億1187万9000円（前年度比4・6%増）で、財源の大半を占める町税収入は過去最高額の52億9829万5000円（前年度比0・9%増）。

この貴重な財源を、町はどう効果的に予算配分したのか。

今号では、一般会計歳出の上位5費目について、町民の声と共に注目を取上げる。

15人の議員による357項目の予算質疑から、寄居町の「今」を検証。

※P.4～P.9 金額はすべて万円単位（以下切捨）で表記

歳出全体の

37.8%

53億3493万円

介護・子育て・高齢者・障害者等、福祉に使うお金

① 民生費

「加速する福祉の需要」に応えられるか

歯止めがかからぬ少子高齢化
民生費ふくらみ

過去最大予算

視点・論点・注目点

予算審議で見てきた寄居の今

一般会計の目的別歳出の中で、最も高い割合を占めるのは民生費。少子高齢化への対応が町の財政にも大きな影響を与えていることがわかる。

町の人口がピークだった平成12年から人口は減となりながらも、民生費の割合は増加。厳しい財政運営の中でも、加速する福祉関連の需要に対して、「効果のある事業化がなされているか」に注目したい。

利用率上昇「学童保育」

「共働き世帯の増加」「女性の就業率の増加」「核家族の増加」等、社会的な背景により学童保育の利用率は年々上昇。令和7年4

注目事業

こども家庭センター運営事業 1456万円

子育て世代包括支援センターを「こども家庭センター」に拡充し、児童福祉と母子保健の業務を実施

子育て支援交付金 620万円

第1・2子出生時に3万円分、第3子以降は5万円分を地域通貨Yori-Caポイントで支給

学童クラブ新設 1726万円

待機児童対策として、新たに桜沢小学校区に学童クラブを開設

1



桜沢学童の新設で、子ども1人ずつのスペース確保が改善されました。大変良かったと思います。あとはトイレですね。新しい学童はトイレが一つなので、これが改善できたら、もっと子どもたちのためになると思います。

おおたに あけみ
大谷明美さん（桜沢）



1 2 3 令和7年4月に新たに開所した「桜沢学童ひだまりクラブ」。一軒家（戸建）を活用し家庭的な雰囲気の中で広々とした施設。キッチン完備でおやつも準備できる。

2



3



子ども達と楽しくがんばります！

桜沢学童支援員

たぬみ みち子
田沼美智子さん（深谷市）



桜沢学童「おひさま（第1第2）」は、本来40人規模の施設であるべきところを、80人前後の児童が利用していました。新しい学童「ひだまり」が新設されて、こちらに26人が移ると、子ども達が落ち着いて過ごせるようになり、とてもありがたいです。

桜沢学童支援員

おがわ あきこ
小川亜希子さん（本庄市）



議場のリアル！
映像はコチラ

データで見る寄居町

人口は減っているが民生費割合は増えている

民生費
割合 21.0%

人口
38,516人

平成12年(2000)

民生費
割合 30.2%

人口
36,794人

平成22年(2010)

民生費
割合 37.8%

人口
31,535人

令和7年(2025)

注) 人口は平成12年・22年共に同年10月1日、令和7年は4月1日現在。
民生費の割合は平成12・22年が共に前年度決算数値、令和7年は予算数値。

年々増加の民生費

月1日現在、町内小学校の全児童数1200人中、39%にあたる471人が利用している。町には13か所の学童施設があるが「キッチンやトイレが完備されていない」「施設が狭く子どもたちがぎゅうぎゅう詰め」などの課題も…。
子どもたちがのびのびと過ごせる環境整備が必要だ。



学童（放課後児童クラブ）については寄居町HPをご覧ください

③ 教育費

小中学校、公民館、図書館の運営費等、教育全般に使うお金

歳出全体の
12.2%
17億2546万円

視点・論点・注目点
予算審議で見えてきた寄居の今
第3位は教育費。私たちが教育費を取り巻く現状に向き合うことは、予測不可能な未来を生きる子ども達への責任。彼らにとって、学び意義や喜びを実感できる環境づくりを「子ども達の目線」で考えたい。



議場のリアル！
映像はコチラ

注目事業

城南中学校区再編整備事業 1億4556万円
(仮称)城南小学校建設・城南中学校長寿寿命化改修事業に伴う設計業務

部活動地域移行事業 248万円

2つの部活動について休日の活動を地域クラブ活動に移行

**NEXT GIGAスクール
タブレット端末整備事業 988万円**

既存GIGAスクールタブレット端末のリース期間満了に伴う更新



予算については
「広報よりい4月号」
もご覧ください

他自治体へふるさと納税しています。返礼品は日用品とお米を選ぶことが多いですね。寄居町の返礼品にはどんなものがあるのでしょうか。

三ヶ尻由美子さん(西部)



② 総務費

人事・企画・財政・徴税・戸籍・選挙等町の総括的な事務事業に使うお金

歳出全体の
13.8%
19億4090万円

まだある「のびしろ」

視点・論点・注目点
予算審議で見えてきた寄居の今
第2位は総務費。総務費の中の「ふるさと納税」、市場規模は1兆円を超え、今後も成長が見込まれる。寄居町は返礼品数や寄附額の面で、まだまだ大きな「のびしろ」がある。寄附用途の工夫や積極的なPRなど、あらゆる手法を活用することで、自主財源の確保に加え、地域産業の活性化にもつなげていくことが重要。



議場のリアル！
映像はコチラ
(32秒あたり～)

注目事業

標準準拠システムへの移行

全国の自治体においてマイナンバー等個人情報を取り扱う基幹システムの仕様を統一

婚活イベント事業 110万円

出会いの場の機会を提供するため、町内の飲食店を会場としてイベントを年2回開催



未来ある子ども達の幸せは わたしたちの責任

寄居町議会初！
一般会計当初予算に対する

学校再編、幅の広い議論を

附帯決議を議決

議会最終日、一般会計当初予算を賛成多数で可決した後、原口議員より動議が提出され、賛成多数で議事日程に追加し、審議となった。

※附帯決議

対象の案件（予算案等も含む）について、議会が執行上の意見や要望を表明するもの。

質疑…久保議員 内容は議会や住民と合意形成を図るべき当然のこと。審議は不十分だったと考えているのか。

答弁…原口議員 そのとおり。今までの審議では説明不足、不十分と考えている。

質疑…鈴木議員 文教厚生常任委員会での調査研究後の結論を、議会としても尊重されるか。

答弁…原口議員 議会としても、その結論を尊重すべきと考える。

質疑…浅見議員 附帯決議にある「学校運営」とは、基本設計予算についても含まれるのか。

答弁…原口議員 多様な考え方を考慮した上で基本設計についても進めるべきだ。

附帯決議（要旨）

1. 現計画について、義務教育学校等の方向性も含めた慎重な検討と十分な協議を
2. 文教厚生常任委員会における結論を踏まえ、今後の学校運営の検討継続を
3. 本年度予算の執行については学校運営の方向性を慎重に判断し進めるべき
4. 重要な事項については、住民・教育関係者・議会が十分議論し合意形成を図ること
5. 上記事業の進捗状況は、適宜議会に報告を



議場のリアル！
附帯決議に関する映像はコチラ
(41分あたり～)

附帯決議に

反対

吉田正議員…義務教育学校については時期尚早
岡本議員……今後の委員会の意向を尊重すべき
浅見議員……教育委員会の説明は十分と理解
津久井議員…開校に向け、様々な検討が大事

附帯決議に

賛成

稲山議員……教育制度を見直す重要な機会
久保議員……附帯決議の内容は当然のこと
笠原議員……これまでの審議の経過が不満

附帯決議について

審議の結果「賛成10・反対5」

賛成多数で可決

4

衛生費

健康増進、疾病予防、環境衛生の改善等に使ったお金

歳出全体の

9.4%

13億2894万円

医療費抑制のカギは「予防」

視点・論点・注目点
予算審議で見てきた寄居の今

第4位は衛生費。

町では、厳しい財政状況を背景に、増え続ける医療費を抑えるための疾病予防や健康増進に力を入れており、中でも口腔の健康管理の重要性が高まっている。今回、議会は学校医等とおして「口腔ケアの重要性」を提唱する歯科医師にインタビューした（左記事）。医師による根拠

ある提言の数々を実践し、さらなる歯科予防の意識向上に努めべきだと考える。



注目事業

ナトリウム・カリウム比（ナトカリ比）

普及事業 28万円

塩分摂取状況のチェックで高血圧予防の食事知識を普及

乳がん検診受診率向上事業 42万円

40代50代の女性の乳がん個別検診の自己負担額を期間限定で無料化

エコハウス推進事業補助金 517万円

省エネ設備（太陽光発電・家庭用蓄電池等）導入促進のための補助

大野院長のおすすめトレーニング
「口腔体操でオーラルフレイル予防」
動画はこちら ▶



日本歯科医師会公式チャンネル

お口の健康は全身の健康

学校医を通して感じること

最近の子ども達は栄養の摂取状態がよいので身体の成長は早いですね。ただ「咀嚼力」は衰えてきています。これは、食生活の中で硬い繊維のあるもの（きんぴらごぼうや煮干し等）を食べる機会が少なくなり、プリンやハンバーグなどの柔らかいものが主になっているためです。顎の骨の成長が劣ってきて、歯並びが悪くなっている傾向が見られます。硬いものを食べないと、顎は成長しません。

また、3年4か月のコロナによる非常事態宣言の影響で、子ども達の中に

噛んで食べることの大切さ

ものをよく噛んで食べることは、栄養の消化吸収の意味でもとても大切です。咀嚼することで分泌される唾液中のアミラーゼ（タンパク質分解酵素）により、胃腸での消化吸収が進み、体力・免疫力が増します。

この機能が低下していくと「フレイル」（健康な状態と要介護状態の中間に位置する状態）にもなってしまう。その上、歯周病になると歯周病菌が血液を介して全身にいきわたり（歯周病巣感染症）、心筋梗塞・脳梗塞・糖尿病、誤嚥性肺炎などにもつながり

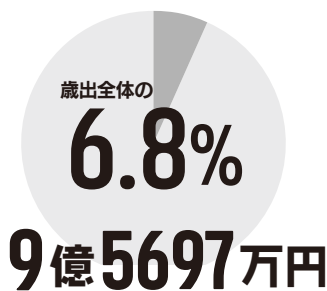
20本持っている人は7%しかいませんでしたが、この運動により、2017年には20本歯を持つ人は51・2%になりました。このことが、健康寿命と平均寿命を延ばすことになったと思えます。

薬を飲んでいればいいのか、好きなものを腹いっぱい食べているというだけではだめ。健康で長生きしている人は、しっかりものを噛んで、考えて食事をしています。「楽しく健康」は手にすることはできません。

自分の体質を理解し、無理せず健康によい日常生活を送ること。そして少

⑤ 土木費

道路、橋りょう、公共交通、公園等の整備などに使うお金



選択と集中によるインフラ整備を



議場のリアル！
映像はコチラ

視点・論点・注目点
予算審議で見えてきた寄居の今
最後、第5位は土木費。
議会が注目するのは「デマンド
町内・町外運行事業」。6月か
ら、寄居駅及び男衾駅から小
川赤十字病院までの往復便の
町外運行が始まる。ポイント
は「利便性」と「周知」。

注目事業

デマンドタクシー町内・町外運行事業 3607万円

町外便は、1日4便運行。利用者負担は片道1500円

住宅改修資金補助金 1000万円

町内業者との契約の住宅改修時に20万円を上限に10%の補助

協働の道づくり事業補助金 200万円

未舗装の町道をコンクリート舗装する際の経費を一部補助

桜沢駅歩道橋修繕事業 1億1552万円

歩行者の安全確保と長寿命化のための大規模修繕工事を実施



愛のりタクシーの
町外便実証運行について
(寄居町HP)

通常タクシーだと寄居町から片道5000円～6000円料金がかかる、自己負担1500円で利用できる。



Specialist
Interview

深谷寄居歯科医師会 副会長
大野歯科医院 大野公義院長

毎日の食事の中で口の周りの筋肉を鍛えて、嚥下機能を高めることが大切

は「口がよく開けられない」「硬いものが噛めない」「顎がガクガク鳴る」「呑み込みがうまくできない(嚥下機能の低下)」等、まるで高齢者のような訴えがありました。これは、黙食等により「食事の楽しさ」が奪われたこともあるでしょう。子ども達の心身の成長に大きなマイナスがあったように思います。

ます。さらには、免疫力の低下により、がんの発症の危険が増しますから、注意が必要です。

「楽しく健康」は無い

1989年に厚労省と日本歯科医師会の呼びかけで「8020運動(80歳で20本の歯を残す運動)」が始まりました。当初は、80歳では平均で4～5本、

の自己管理の積み重ねです。これが元気で暮らしていく秘訣ではないでしょうか。

寄居町でも節目歯科検診(20歳、30歳…と年齢の節目での検診)を実施してもらいたいですね。医療費削減にもつながる歯の健康意識の向上に、行政もしっかりと取り組んでいただきたいと思っています。

継続注視

提言のゆくえ

あわせて読みたい
(議会だよりNo.114)



昨年10月に議会が町に提言した2項目は寄居駅南口の現状を質すものだった。峯岸町政は私たち(議会・町民)の思いをどう受け止めたのか。様々な形で駅前に集う町内外の貴重な声から、提言のゆくえを考える。

町に届いたか 町民の声・議会の意思

歩く楽しさ
満載

「電車がたくさん
見える終点駅」の
魅力

八高線も
写したよ!

電車が大好きな子どもと「今日は東上線の終点まで行ってみよう!」と寄居駅まで来ました。電車を待つ間、寄居蜜柑アイスの看板が見えたのでYottecoに来たんですが、屋上から見える電車に子どもが大喜び! 都内からは少し遠いですが、いいところですね。来てよかったです。

津田晶子さん・昂汰さん(板橋区在住)

ライフ跡地活用

議会からの提言①

ライフ跡地問題 早期解決を!

令和4年度に寄居駅南口の中央通り線が2車線となり、町の顔となる駅前拠点「Yotteco」「YORIBA」が整備された。しかし、廃墟となりつつあるライフ跡地の建物は、寄居町南口の活性化に大きな支障となっている。秩父鉄道株式会社との交渉をこれまで以上に加速させ、寄居町の将来を見据えた具体的な進捗が図れるよう要望する。

町の回答「粘り強く協議進める」

ライフ跡地問題について、議会から二度の提言をいただいていることは大変重く受け止めている。町は中心市街地の賑わいの創出にとって重要なエリアであると認識している。一方、ライフ跡地は民間企業が所有する土地建物であることから、民間取引によって売却先等の選定がなされて活用されるべ

男衾駅から男衾自然公園を回って、寄居駅まで約1万5千歩。みんなで景色を楽しみながら歩きました。寄居に知り合いがいて「いつか行きたいね」と話していたんです。今回初めて訪れましたが、駅前もきれいでいいですね。

熊谷市からお越しの皆さん

Yottecoでの
個展開催に
満足



都内在住ですが、出身は桜沢です。4月にYottecoで個展を開催。鉄道アクセスの良さ、建物の明るさ、利用料金等も明朗と様々な条件がよく、Yottecoに決めました。駅前の環境もとてもきれいでいい感じ。ライブ跡地が活用できれば、もっと良くなると感じます。

マーロー憲子さん（板橋区在住）

寄居駅は町の
玄関口。もっと
元気に



駅前はずきれいになったけど、ラウンドアバウトはちょっと運転しづらいね。駅に降りる人は少ないし、この時期、タクシーに乗るお客様は桜を見ようと東秩父村等、町外に乗せていくことが多い。寄居にも桜の観光スポットはたくさんあるのに案内看板はあっても宣伝が弱いんじゃないかと思う。ライブ跡地も何とかしないと、駅前は元気にならないですよ。

よしだ しげお
吉田 茂さん（市街地）

路線バス乗り入れ

きものと考えており、町としては所有者である秩父鉄道株式会社に対して地域経済の発展に寄与する形でこの問題が決着するよう、粘り強く協議を進めていく。

議会からの提言②

寄居駅南口に県北都市間路線バスの乗り入れを

南口駅前広場と県道を結ぶ中央通り線は整備されるも、駅南口へのバス乗り入れはされておらず。鉄道からの利用者は、勤労福祉センター（よりい会館前）の停留所まで歩くことに……。町民の利便性向上のため寄居駅南口への乗り入れに向けた隣接市町村との連携と、関係事業者等とのさらなる協議を強く要望する。

町の回答「乗り入れ目指し協議」

議会からの提言を受け、県北都市間路線バス維持対策協議会に対し正式に「県北都市間路線バスの寄居駅南口への乗り入れに係る要望書」を提出。

協議会の了承を得て、さらに協議会から運行事業者である協同貨物自動車株式会社に對し、要望書を提出。今後、その回答を受け、1日も早い乗り入れを目指し関係者と協議していく。

ギカイの視点 「来て良かった」の言葉に希望あり

今回の議会からの2つの提言は民間企業に関わる案件であるが、依然、町民からの要望の声は強いことから、議会の提言に至った経緯がある。

特に平成25年（2013年）に閉業したライブ跡地は、秩父鉄道・東武鉄道・JR東日本の鉄道3線が交わる駅前好立地にも関わらず、12年間、転用も解体もされないままの建物が残されている。

取材を通し「寄居町の現状を変えるのは、そこに集う人の声である」ことを実感。町外から訪れた人の「来て良かった」という言葉に希望を感じた。今後の町の積極的な取り組みに期待する。

論点は「町民の幸せ」

寄居町議会で初めて「附帯決議」（詳細は7ページ）が議決された令和7年度一般会計当初予算。
反対・賛成それぞれの主張の論点は「町民の幸せ」。真剣な議論の先により良い結論があることを信じて。

一般会計

【反対】

浅見玲子議員

子育て・農業支援不十分

保育料・給食費無償化、農業への支援拡大で活気あふれる町にすべき。

【賛成】

岡本安明議員

子どものための議論を

愛のりタクシー町外便運行、健康弁当販売等の新たな挑戦や、きめ細やかな話し合いで進めてきた学校再編整備事業を評価。

【賛成】

鈴木詠子議員

課題解決の予算を評価

町の多くの「課題」を直視し、町民ニーズに応えるための予算配分を評価。丁寧な事業執行で町民満足度増へ。

国民健康保険特別会計

【反対】

大澤博議員

法定外繰入で税軽減を

一般会計繰り入れによる、町独自の保険料減免を行うべき。

【賛成】

津久井大雄議員

人間ドック助成充実を

疾病予防費や高額療養費、出産育児一時金等の拡大・充実を評価。

水道事業会計

【反対】

大澤博議員

生活困窮世帯へ軽減を

水は生きていくための源、生活困窮世帯へ町独自の軽減施策を。

【賛成】

吉田林蔵議員

管路更新・耐震化事業

料金改定で確保される財源の有効利用による施設・管路更新整備に期待。

後期高齢者医療特別会計

【反対】

浅見玲子議員

制度設計に無理がある

負担の重い保険料では、高齢者が医療から遠のき手遅れが心配に。

【賛成】

本間政道議員

安定した後期医療へ！

高齢者の健康な生活を支援できる体制を構築する事業に期待。

議場のリアル

白熱の討論を映像で



(討論は16分4秒あたりから)



公開します 3月定例会 審議議案と議員の賛否

平成20年以降の議決結果を議会ホームページで公開

上程議案・概要・結果	賛成：○ 反対：×	結果	里見夕子	浅見玲子	吉田林蔵	津久井大雄	久保鷹矢	本間政道	保泉周平	権田孝史	笠原則夫	大澤博	吉澤康広	鈴木詠子	岡本安明	稲山良文	原口孝	吉田正美
全賛…全員賛成で可決・認定・採択 賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択 除…除斥																		
専決処分																		
寄居町一般会計補正予算 1億3006万2000円増 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の低所得世帯支援枠分を活用した支援に係る経費について所要額の補正を行うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度寄居町歳入歳出予算																		
一般会計 141億1187万9000円（前年度比4.6%増）	賛多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計 35億7619万7000円（前年度比1.7%増）	賛多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計 5億3855万2000円（前年度比0.4%減）	賛多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
水道事業会計 収益的収入10億5888万4000円 収益的支出10億967万3000円 資本的収入9億7614万5000円 資本的支出13億4507万7000円	賛多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
下水道事業会計 収益的収入6億5004万7000円 収益的支出6億4964万8000円 資本的収入8848万9000円 資本的支出2億3161万3000円	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公設浄化槽事業会計 2937万3000円（前年度比16.9%減）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 補正予算																		
一般会計〔6回目〕1億6300万1000円（1.1%）減額 歳入歳出予算、繰越明許費及び地方債について補正を行うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計〔4回目〕62万円（0.02%）減額 事業費の確定等によるもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 補正予算																		
一般会計〔1回目〕1億3621万1000円（1%増） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し定額減税の不足額給付を行うため等所要額の補正を行うもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正・廃止																		
寄居町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正【議員提案】 法律の改正により規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町課設置条例の一部改正 町の行政課題に対応し、必要なサービスを提供していくため規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 マイナンバーを利用した情報連携による受給資格等の確認を行う必要があるため規定を整備するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 地方公務員法の規定に基づき職員の休暇に関し、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長、副町長及び教育長の給与等に関する条例の一部改正 地方自治法の規定に基づき、町長、副町長及び教育長の給与に関し規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町職員の給与に関する条例の一部改正 地方公務員法の規定に基づき職員の給与に関し、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町技能労務職員の給与の種別及び基準に関する条例の制定 地方公営企業法の規定に基づき、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 地方公務員法の規定に基づき会計年度任用職員の給与に関し、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 地方公務員法の規定に基づき職員の特殊勤務手当に関し、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町立同和対策集会所設置及び管理に関する条例の一部改正 町立立ヶ瀬集会所を廃止するため、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町下水道条例の一部改正 下水道法施行令の改正に伴い、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町上下水道事業審議会条例の制定 水道事業及び下水道事業の運営に関し、審議会を設置するため規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町企業職員の給与の種別及び基準に関する条例の制定 地方公営企業法の規定に基づき企業職員の給与に関し、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴い規定の整備をするもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事その他																		
寄居町公平委員会委員の選任の同意 任期満了に伴い、再任 伴場 力さん（男衾）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意 任期満了に伴い、再任 大澤正己さん（西部）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町農業委員会の委員の任命の同意（12人） 農業委員の任期が令和7年3月31日に満了となるため。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結 中央公民館及び町民ホールの老朽化した空調設備の更新を行うため。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定 総合社会福祉センターかわせみ荘の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定 かわせみ広場の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定するもの。	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度寄居町一般会計予算に対する附帯決議【議員提案】	賛多	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×

（注）議事進行を行う議長は賛否同数の場合のみ「議長裁決」として賛否表明します。

一般質問という名の 政策提議

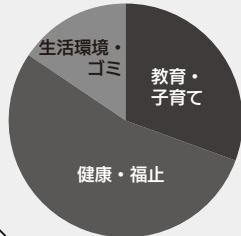
一般質問 各議員の傾向を「見える化」

この2年間でそれぞれの議員がどんなテーマに関心を持ち、どのような質問をしてきたかを「見える化」。
町の課題や政策の「今」が見えてくる。あなたの知るあの議員はどんな質問（提案）をしているのか。ぜひHPで確認を。

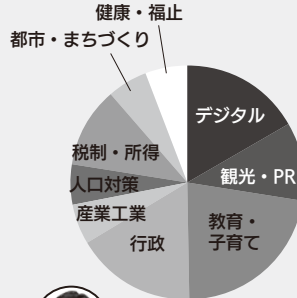
ここでは里見議員と久保議員の
質問傾向をご紹介します。



議会HPで全議員
の質問傾向が
見られます



里見タチ子議員の傾向は
健康・福祉や教育など、
絞り込んだ項目に特化した質問



久保鷹矢議員の傾向は
デジタル化や観光・PRなど、
バランスよく多岐にわたり質問



議員からの政策提案が町の基本構想・基本計画
に対しどのように反映していくのか。一般質問
を「第6次寄居町総合振興計画・後期基本計画」
の項目で分類して見える化した。



◀ 寄居町HPで公開
第6次寄居町
総合振興計画
後期基本計画

子育て・人づくり [基本目標1]

子ども議会（主権者教育）開催	原口
鉢形小学校と折原小学校の統合、一貫校 （義務教育学校）一貫教育の推進	原口
新時代の小中学校の通学編成	笠原
（仮称）城南小学校建設・城南中学校 長寿命化改修事業	稲山
認知症基本法	吉田林
子どもへの性暴力防止	吉田林
学校群制度の創設	吉田林
子育て支援	浅見

産業・にぎわい [基本目標2]

寄居町農林業振興ビジョン	保泉
駅前ライフ跡地	原口・稲山
稼ぐ自治体	笠原
地域通貨	大澤

コミュニティ・健康長寿 [基本目標3]

社会教育関係団体	津久井
二十歳式の式典のあり方	本間
街コン等出逢いの会への工夫	笠原
難聴高齢者の支援	里見
女性特有のがん対策を含めた健康課題	鈴木
訪問介護	大澤
健康長寿事業の積極的展開	浅見

安全性・利便性・コンパクト [基本目標4]

下水道事業の課題	津久井
AEDを使用できる環境づくり	津久井
町内施設のLED照明化	本間
寄居町の公共施設の故障や不具合等	本間
生活排水処理と河川の環境改善	保泉
小中学校体育館へのエアコン設置	里見
防災意識向上の取り組み	鈴木
小型動力ポンプ付軽消防車の 導入による防火対策	吉田林
愛のりタクシー	大澤
水道料金	大澤

その他

懸垂幕	津久井
「辞めない」「入りたい」職場づくり	久保
企業版ふるさと納税の方針	久保
ふるさと納税制度活用の方針	久保
令和7年度予算と現町政下で「未来は どう変わるのか」	久保
職員の働き方改革	原口

（議員名あみがけ項目は記事掲載あり）

一般質問は15名の議員（*）が独自の視点・テーマで政策提議するもので、3月定例会では
12名が登壇。改選から2年、このたびスタートした質問傾向の見える化にもぜひ注目を。

（*）議員全16名中、議事進行を行う議長を除く

追跡! このテーマ、以前も質問



くほたかや 久保鷹矢議員



問 現町政は町をどう変える町では少子化と教育施策充実強化、地域内経済循環促進、健康寿命の積極的展開を重点項目としている。これまでの事業と重点項目は将来の寄居町にどう影響を及ぼすのか、長期的なビジョンを伺う。

答 チャレンジできる寄居町は、①日本全体の成長 ②強



歩みを止めずに「挑戦」

さ、豊かさの上での「楽しい寄居町」③「独立自尊の気概ある風土の醸成」が肝要。「明るく楽しくチャレンジ」できる寄居町を目指す。

追跡! このテーマ、以前も質問

令和6年12月
令和5年 6月

ほずみしゅうへい 保泉周平議員



問 ビジヨンの実現性を高く寄居町としては、農林業の5つの基本方針によるビジョンを展開しているが、食料・農業・農村基本計画が改定され、「農地利用地域計画」を策定するに当たり、「人・農地」の確保について町の考えを伺う。

答 将来のあるべき人と農地



遊休農地をなくし有効活用しよう

農業を担う皆様との話し合いを実施し、おおむね10年後を見据えて目指すべき将来の農地利用の姿をまとめ、た「地域計画」を策定する予定である。

追跡! このテーマ、以前も質問



つくいひろたけ 津久井大雄議員



問 設置場所を増やす考えは救急車が到着するのに深谷消防署では、平均して9分かかる。心停止の状態から除細動を開始するのが1分遅れるだけで、生存率が10%低下し、県内でも一般の方が年間100件以上使っている。補助金を出して設置場所を増やす考えはあるか。



だれでも使えるAED

答 未設置区への対応を検討AEDマップの再確認を行い、未設置区への対応を検討する。補助金等は考えていない。

追跡! このテーマ、以前も質問



令和6年3月・6月

ほんまごみち 本間政道議員



問 修理、廃止、建て替え町民施設は常に良好な利用可能施設であるべきと考えられる。しかし、寄居町の公共施設は老朽化が進んでおり、多くの施設で故障や不具合があるようだ。修理は必要だが、廃止や建て替えの選択もあると思う。30年先の寄居町の将来を見据えた施策を伺う。



老朽化対策、待ったなし

答 公共施設の最適化の最適用可能施設であるべきと考えられる。しかし、寄居町の公共施設は老朽化が進んでおり、多くの施設で故障や不具合があるようだ。修理は必要だが、廃止や建て替えの選択もあると思う。30年先の寄居町の将来を見据えた施策を伺う。

命を守る「二分一秒」 AEDの設置促進

3 すべての人に
健康と福祉を

古くなった公共施設 の維持管理は

11 住み続けられる
まちづくりを



新たな教育環境が 古い教育環境整備か



追跡! このテーマ、以前も質問
原口 孝 議員



令和6年6月・12月
令和5年6月・9月



問 何が問題? 義務教育学校
小中学校別々の運営と一
年から9年生までの一貫した
義務教育学校と、子どもたち
の将来を見据え、関係者の満
足が得られる方向性を示すべ
きた。教育委員会の見解を伺
う。

答 子どもにより良い教育環境を
中学校が城南中学校校区の子ど
ろに提供すること、当町の2
小学校の統
合をスムー
ズに進める
ことができ
ると考えて
いる。

も達のために望ましいと考え
る。それぞれの校種で専門性
に長けた校長2人体制を展開
する中で質の高い教育を丁寧
に施すとともに、



挑戦できない、考えない町



「聞こえのチェック」 で難聴支援を



追跡! このテーマ、以前も質問
里見 夕子 議員



令和6年6月



問 難聴支援はスピード勝負
加齢性難聴は本人の自覚
がないまま進行することが多
く、医療機関への受診が遅れ
やすい傾向がある。聞こえに
くさはコミュニケーションの
妨げとなり、認知症や社会的
孤立につながるとされている
ことから、補聴器購入費の助
成を含めた難聴高齢者の支援
をすべきでは。

答 有益となる調査を研究
難聴の早期発見・受診勧
奨につながる有益な調査研究
を行い、補聴器購入助成につ
いても引き
続き先例自
治体の実情
把握や情報
収集を行っ
ていく。



高すぎる補聴器!!



新時代の小中学校 の通学編成は



追跡! このテーマ、以前も質問
笠原 則夫 議員



令和6年3月
令和5年3月



問 近い場所への通学許可を
全国的に統廃合が進む中、
他行政区の学校が近ければ通
わせたい。徒歩通学は全国的
に2.5キロメートルまでが
増えている。当町でもそれ以
上の距離は、スクールバスを
検討していただきたい。

答 行政区を考慮して設定
行政区は、行政区のま
とまりも考慮して設定してい
る。また、地域コミュニティ
としての重要性もあるため、
現状維持が適切だと
考えている。



近隣学校に通えず2倍の
距離を通学



統合小は小中一貫義 務教育学校にすべき



追跡! このテーマ、以前も質問
稲山 良文 議員



令和6年3月
令和5年3月



問 将来見据えた「新校舎」に
統合小は将来児童生徒数
の減少が予想される。新校舎
は中学校舎と一体化し、利用
率の良い流動性を考慮し効
率の良いコンパクトな建造物
とすべきだ。小中一貫義務教
育学校を設立すべきと考える。
城南中と接続し一体的使用に
すべきだ。小中一貫義務教
育学校を城南中学校
に接続させ、一体的に使用で
きるよう基本設計を進めてい
る。城南中学校舎を最大限活
用し、5・6年生を中学校舎
に整備す
る等コン
パクトに
パクトに
し、校長
2人体制
を考えて
いる。



接続待たれる新校舎

追跡! このテーマ、以前も質問



おおさわ ひろし
大澤 博 議員



非課税世帯へ料金減免を
問 町民生活は、高齢化の増加と物価高騰により苦しい生活をしている。水は生きていく上で必要不可欠なもの。安全・安心な水道水にするため、4月から水道料金が改定される。憲法25条に、「全て国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とある。非課税世帯に水道料金の減免ができないか伺う。



生きるために水は必要なもの

減免ができないか伺う。
答 使用者負担の公平性を確保するため、非課税世帯の水

水道料金減免制度の拡大を



追跡! このテーマ、以前も質問



令和5年6月

すずき えいこ
鈴木 詠子 議員



がん検査キット無料配布を
問 生理や不妊、更年期障害など女性には人生の各段階で様々な健康課題に直面する。女性の健康を守ることは経済的な観点からも重要。がん簡易検査キットは、女性特有のがん予防の観点からも効果があると考えられる。実施の考えは。検診への導入効果は認識



健康を守るのは…受診する勇気

検査できるキットは、受診率が伸び悩んでいるがん検診の導入としての効果は認識している。今後、先例自治体を調査研究していく。

女性の生涯にわたる健康支援を



追跡! このテーマ、以前も質問



令和5年6月・9月

あさみ れいこ
浅見 玲子 議員



若い世代の人口流出心配
問 令和5年深谷市、令和6年行田市、上里町に続き令和7年4月から熊谷市が保育料の無償化に踏み切った。近隣の大きな市が保育料を無償にするという事で、寄居からの若い世代の人口の流出が懸念される。今後本町でも保育料無償化を考えているか。



お金の心配せずに保育園に

近隣の動向踏まえ検討
答 国の制度に基づく幼児教育、保育の無償化や近隣市町村の動向を踏まえ、保育料の無償化について検討していく。

近隣自治体に続け！ 保育料の無償化



追跡! このテーマ、以前も質問



よしだ りんぞう
吉田 林蔵 議員



火災による住宅延焼防止
問 山間部や入り組んだ狭い集合住宅が多い地区において、火災による延焼は避けられない状況だ。現在の消防自動車による消火活動では困難が生じることから、密集地に住む人の不安解消が必要。考えを伺う。

小型化の消防団車両を導入
答 消防本部では狭隘な場所へ進入可能な中型ポンプ自動車等を活用して、消火活動を行っている。また、消防団車両は、従来の車両と比較して小型化を進めており、現状で対応可能だと考える。



本庄市には配備されている

小型動力ポンプ付 軽消防車導入を



視察という名の政策提案への挑戦

先進自治体の視察により、町の中だけでは知り得ぬ多くの情報を得ることができ、議員がどこで何を、考え、町のためにどう生かしていくのか。挑戦は続く。

DX推進

総務経済常任委員会

町民サービスの 利便性向上に期待

朝霞市「行政情報デジタル化推進方針」



当町でもスタートしている「書かない窓口」普及促進に努めたい

令和4年10月に策定された朝霞市行政情報デジタル化推進方針についての説明を聞いた。方針では重点事項として4つの取組を挙げている。

- ①行政手続きのオンライン化
- ②自治体情報システムの標準化・共通化
- ③BPR（業務改革の促進（AI・RPAの利用推進））
- ④テレワーク環境の整備検討

デジタル化は問題解決手段のひとつであると考ええる。

視察後考

朝霞市公式LINEは令和7年1月27日現在で登録者8067人。その活用に注目。令和7年度までに、対象となる20業務システムを、国が示す標準仕様へ移行することは寄居町も同様。計画的な推進に努めたい。

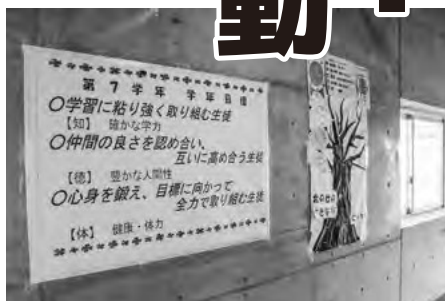
文教厚生常任委員会

小中一貫教育 学習環境の 充実を図りたい

太田市「北の杜学園」・玉村町役場

部教育・活動

玉村町では、部活動の地域展開では中学校2校で部活動を共同で行っている。また、地域クラブでも部活動が行える。



「第7学年」の学年目標

視察後考

小中一環教育については、それぞれのメリットを再確認し、今後も調査を重ねていく。部活動の地域移行は、学校から切り離すということではなく、地域全体で子どものスポーツ環境を整えていきたい。

議員報酬

聴きたいのは あなたの声

議会議員報酬検討委員会 開催



「議員は何をやっているのかわからない」という厳しい声も

第3回以降は、「議員・議会に求めるもの」「議員になるための課題」について意見交換を行い、検討を進める予定。

第1回（1月20日）
「寄居町だけでなく近隣の状況も知りたい」
「本会議と委員会」「一般質問」「議会基本条例」等の説明を行う。委員から、比較検討の材料として近隣市町議会の情報提供の要望が出された。

令和6年1月、町民の代表18名で構成する「第1回寄居町議会議員報酬検討委員会」を開催。町民による議員報酬の検討がスタートしている。会議は全6回で11月までに答申が出される予定。既に行われた2回の会議から「町民の声」を報告する。

第2回（2月17日）
「議員は何をやっているのかわからない」
「この報酬で生計が成り立つのか」
「全国及び埼玉県内町村の報酬の現状」「寄居町の議員定数・報酬額の変遷」について説明。委員から「費用弁償・公務活動費の支給があるのか」「議員報酬の財源は何か」「議員は何をやっているのかわからない」「幅広い世代で議員になりたい人がなれるのが理想だが、生計が成り立たないのが現状だ」「議員定数を減らせばよいのでは」などの声があった。

「この報酬で生計が成り立つのか」

議会は「住民自治の根幹」。だからこそ、「議会改革」は議会と町民が共に進めるもの
と考える。「あなたの声」が、議会を変える。

令和7年度予算で実現！

「モニターに字幕表示」へ

議場は3階、傍聴席は4階のため「せっかく来たのに聞こえずらくて残念」等の声が多く寄せられていた。



↑導入後のイメージ

聞こえ方に不安がある方や聴覚障害者に対する配慮として、議会傍聴のモニターに表示する「字幕システム」を今年度導入予定。

合理的配慮

「聞こえずらい…何とかして」

当時の新聞
見出しで辿る

「三ヶ山問題」^{昭和の}歴史

昭和48(1973)年に埼玉県が寄居町三ヶ山に計画した産業廃棄物処理施設の建設については、住民と議会が共に動き訴えてきた歴史がある。当時の新聞の見出しを通して見た、三ヶ山の今と未来。

※埼玉新聞・読売新聞

昭和52年

3月24日付

建設反対の請願採択

昭和56年

9月10日付

9月12日付

9月13日付

9月29日付

調査阻止に監視態勢 ～県側の説得は難航～

話し合い平行線～住民側実力阻止の構え～

衝突は当面回避 ～県、地元へ柔軟姿勢示す～

**揺れ動く“三ヶ山”廃棄物処分場をめぐり対立
機材持ち込みで情勢緊迫に**

大詰め 相容れぬ主張～発展と公害で物別れ～

昭和57年

4月11日付

8月30日付

9月12日付

9月14日付

9月15日付

9月17日付

「見返りの工業団地」～基本構想がまとまり示す～

県が調査実施を通告 ～住民反発、実力阻止の構え～

7年越しの懸案 ～反対住民の動き注目～

調査団現地入り ～今週がヤマ場～

県が機材搬入を強行 ～機動隊出動、混乱なし～

用地の七割まず買収 ～関係議案、県会へ～

昭和58年

10月21日付

県、基本計画案を提示 ～跡地は運動公園などに～

昭和59年

10月9日付

10月10日付

県会環境常任委 慎重審議望む意見 ～採決持ち越し～

「用地買収」可決 ～県の産業廃棄物処分場・寄居町～

昭和60年

2月19日付

6月1日付

三ヶ山廃棄物埋立処分場建設～県が対策本部設置～

県と寄居町が公害防止協定 ～県の責任を明文化～

三ヶ山廃棄物処理場問題 新段階へ

当時の新聞記事を見ると、あの
ときのことが思い出されますね。
地域も、そして家族でさえ意見
が分かれ、本当に大変な時代で
した。(原口 孝議員)



2025年1月 20周年の節目を迎えた最終処分場

平成に入り、県は寄居町と処分場建設に係る公害防止細目協定等を締結、平成18年に彩の国資源循環工場がグランドオープンとなった。

「環境整備センター」の埋立て跡地に新たに整備予定の「資源循環公園・農場」では、大型遊具の設置の他、彩の国資源循環工場で作られた堆肥等を使って野菜を育てるなど、資源を有効活用する。環境と経済が両立するサーキュラーエコノミー社会の実現へ！



写真は「埼玉県環境整備センター」
「彩の国資源循環工場」(埼玉県)より

EDITORS NOTE, 116

「大変な時代だった」

今号の裏表紙では、町政70周年企画第2弾として三ヶ山問題の歴史を取り上げました。50年ほど前のことですが「大変な時代だった」というのが実感です。三ヶ山監視委員会、鉢形・男衾・折原各協議会及び監視委員の皆様方のご努力・ご理解により安心安全が確保されています。皆さん、どんな思いで読んでくださったでしょうか。(原口 孝)

議会広報広聴特別委員会

委員長

鈴木詠子

副委員長

本間政道

委員

里見夕子・浅見玲子

吉田林蔵・久保鷹矢

笠原則夫・原口 孝

発行責任者(議長) 吉澤康広



高齢者や視覚の
弱い方にも配慮した
ユニバーサルデザ
インフォントを使用



「音で聴く議会だより」
「動画で見る議会だより」
議会HPで公開中！

KOE METER 議会が聴いた皆さんの声

今号は6人が登場

00939
(2015年～)

次回定例会は

6月3日(火)開会予定

(日程は変更になる場合があります)

請願・陳情はいつでも受け付けています。
6月定例会報告分は5月13日(火)午後
5時迄に議会事務局へご提出ください。
(郵送可・必着)